

上伊那音楽教育研究会

ハーモニー

第5号

令和8年3月11日

文責 飯島 恭子



第28回アンサンブル交歓会が開催されました

1月31日、厳しい冷え込みの続く中でも空は青く晴れ渡り、宮田村民会館で第28回目となるアンサンブル交歓会が開催されました。今回は午前、午後の前半・後半の計4部に構成され、小学校は19校37チーム、中学校は7校10チームが出場しました。会場で順番を待つ児童、生徒たちの表情やリハーサルの姿からは、それまで積み重ねてきた成果を発揮しようと緊張と共に大きな期待感が感じられ、その様子はとても清々しいものでした。本番では自分たちの曲の個性や性格を十分に生かし、この日までに先生方と練習を重ねてきたことが感じられる、本当に素晴らしい演奏でした。

アンサンブルは通常の合唱のスタイルとは異なり、基本的には2人以上で同時に演奏される構成ですが、上伊那アンサンブル交歓会でも複数のチームに分かれたり、またアカペラで演奏するチームも多く

あります。演奏する側には少人数でプレッシャーもあるかもしれませんが、より発声や響きの方向性が感じられることや、「一緒に」「調和」するアンサンブルならではの音楽のよさが、表れているようにあらためて感じました。そんな面がNHK全国学校音楽コンクールともまた違った、意義のある演奏の機会だと思います。「表現する力」を育てることは、一朝一夕ではありませんが、児童、生徒たちの真剣な眼差しを心に、自分自身学びながら、音楽の喜びを大切に指導にあたっていきたいと思います。

素晴らしい交歓会の運営にあたり、各係の仕事、また日々のご指導もたいへんお疲れ様でした。



上伊那音楽研究会 第2回総会が本年度はZOOMで開催

本年度は上伊那音楽研究会の総会が、ZOOMで開催されました。各部部長から1年間の事業報告が行われましたが、コロナ禍から約6年が経ち、基本的な使用には大分慣れシステムも安定して声も聞き取りやすく、会もスムーズに進行されました。

今年度の取り組みを振り返る中、各大会や講習会、コンサートなども例年に倣ったことだけでなく、どこを残し何を改善するのかという面で、各部で考え前向きに取り組んでいたことをあらためて感じる時間となりました。各会の反省なども様々な意見が出されており、多くの先生がそれぞれの視点から考え、意見を寄せていることを感じました。自分自身にない先生方の視点を取り入れつつ、これからの仕事にも生かしていきたいと思うと共に、そうした先生方の豊かな力や思いが重なり合うことで良いものが生まれていくのだと感じる時間となりました。

【最終号ハーモニー】 1年間、ご協力いただきありがとうございました。

本年度最後の広報「ハーモニー」となりました。今年も各学校の日頃の授業や校内音楽会、合唱コンクールだけではなく、上伊那音楽研究会では、音楽のすばらしさを伝えるために多くの会が行われました。そうした音楽会やコンクールなどで児童、生徒たちのキラキラとした眼差しや真剣な姿に出会う度に、かけがえのない尊さを感じる日々でした。音楽の行事を支えてこられた先生方、1年間お疲れさまでした。

「ハーモニー」の発行にあたり、快くご協力いただきお力添えいただいたことに心より感謝申し上げます。本当にありがとうございました。

